

愛郷  
無限

土屋館  
どや  
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街  
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035  
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2014年04月04日号 NO.467

写真提供：大仙市

## Subject：里山資本主義とその勉強会

書店員や出版社の新書編集長らが選ぶ「新書大賞2014」（中央公論新社主催）で大賞を受章した、藻谷浩介・NHK広島取材班著の「里山資本主義」。既に十数万部の重版となるベストセラーです。話題を呼んだNHK特集【マネー資本主義】を制作し、現在の経済偏重主義に警鐘をならしたNHKスタッフと、【デフレの正体】の藻谷浩介さんが共同執筆した本です。この本は秋田県の・大仙市の将来について非常に重要な示唆を含んでいるので、ぜひ読んでいただきたいのです。

### ◆角川oneテーマ21

#### 【里山資本主義 — 日本経済は「安心の原理」で動く】

藻谷 浩介/NHK広島取材班【著】 820円 ISBNコード 9784041105122

この本の柱は二つ。

#### 1) 地域のお金を外に漏らさない！

地域に元々あり余っているもので有効活用されていないエネルギー源（ここでは木材資源）を上手に利用する方法を模索する。なぜなら地域の赤字（収支）は大概がエネルギーと物（製品）の購入代金であり、県外に流出するお金を出来るだけ内部滞留する道を目指すべき。無駄にお金を外に垂れ流さず、地域で還流できる比率を高める。見逃している余っているものや、廃棄に費用がかかるような材料をエネルギー源（特に熱源）として利用するのが肝要。

#### 2) コミュニティの再構築が必要

循環の仕組みをコミュニティへ採り入れ、無縁社会化の防止。

先日、地元で住宅建築会社を営む若社長から相談を受けました。『ドイツの市民エネルギー会社【ソーラーコンプレックス】のリーダー／ベネ・ミュラー氏が今年6月に来日して盛岡まで来る。この機会にミュラーさんを大曲に呼んで当地で再生エネルギーに関する勉強会を開催したい。青年部に是非とも協力して欲しい』という趣旨。

この若社長は、前述の里山資本主義の中で取り上げられた【日本の再生エネルギーの最先進地・岡山県真庭市】の中心人物であり日本に於ける地域エネルギー改革のトップランナー【銘建工業／中島浩一郎社長】にも協力を要請し、ミュラーさんと中嶋社長のお二人を大曲にお招きした勉強会を開催できることになりました。

2012年の正月にNHKで放映された特番【目指せニッポン復活】で、世界に於けるエネルギーの革命の最先進地であり、日本の田舎が目指すべき一つの形として紹介された岡山県真庭市。その牽引役である銘建工業の中島社長。真庭市には国内だけでなく海外からの視察が絶えないそうです。

福島原発の事故以降、再生可能エネルギーといえば風力発電や太陽光発電が注目されており、秋田県も日本国内では五本の指に入る風力発電好適地であるため、海岸部には沢山の巨大風車が設置されております。しかし中嶋社長が中心となり、岡山県真庭市で進められているエネルギー革命の手法は地域に元々あって無駄になっていたものを有効活用すること。具体的には、木材産業の副産物である木材ペレットを利用して、発電はもとより、農家のビニールハウスや、各家庭のボイラーへの熱源供給です。欧州ではオーストリアがここ10年で飛躍的な技術進歩を遂げ、欧州全域へ徐々に拡がりつつあります。副産物の元となる建築用木材製品に関しても、欧米では既に13階建ての木造高層建築が許可されてる【CLT工法（特殊な樹脂で木を接着）】を日本国内でも認可させるべく法制化・生産化への準備を進めているそうです。

これらは地域の外にお金を漏らさず、地域の中でお金を回していくことを目的に成されていること。元々の話の出発点なのだそうです。

この辺りのことが、とても詳しく分かりやすく【里山資本主義】の本中に書かれています。まずは【里山資本主義】を読んでみてください。

その上で；

ミユラーさんと中嶋社長を招いた勉強会を6月21日（土）の昼～夕方に開催する予定です。決して木材業者さんや建築業者さんのための勉強会ではありません。世界の潮流を知り、日本の最先端を牽引する地域の話をお聴くことで、地域の将来がどの様にあるべきかを考える機会になればと思います。

開催方法・詳細などが決まりましたらドヤツデーでもお知らせ致します。ぜひ参加していただければ幸甚。

これからの大曲が力を入れねばならぬことは：

- ◆ 生産物やサービスの県外向け販売により【外貨】を稼ぎ、雇用を増やす。
- ◆ 外部から人を引っ張りこむ（観光・出張・交流・移住）
- ◆ 地域にあるもの（今は無駄になっているもの）を徹底的に有効活用する方法を模索し、外部へのお金の流出を減らす（エネルギー源はその最たる例）
- ◆ 地域内の様々な業種・組織の真の横連携（物心両方）

そのためにも見逃せない6月の勉強会です。